

# 西尾体協だより

2011年9月30日発行No.1

発行元 西尾市体育協会

問合せ先 同協会事務局

TEL. 0563-54-0002

FAX. 0563-54-7762

## 合併記念市民体育大会

理事長 木村 昌保



本年の第五七回西尾市市民体育大会は、西尾市・幡豆郡三町合併記念大会となりました。

育協会の加盟団体も一団体増え二団体になり、会員数は一万三千人を数えています。この大会が技術の向上と仲間・健康づくりに結びつくことを願っています。総合開会式では、西尾市のスポーツ振興及び選手育成に貢献された七名の皆様に社会体育功労者表彰することになりました。今後より一層のご指導とご活躍を祈念します。

また、式上にて西尾市体育協会スポーツ振興事業助成金を西尾市柔道会に授与することとなっています。この新制度は、体協の加盟競技団体が、西尾市の将来を担う青少年の健全育成と有望選手発掘に積極的に取り組む活動を奨励し、スポーツ振興へと導くものであります。年度は多数の応募をお願いします。

今後の体育協会の行事は、十一月は一市三町合併記念ウォーキング「しあわせウォーキング・わが町再発見」、十二月には駅伝フェスティバルを開催いたします。楽しい思い出づくりに多くの方の参加を期待しています。

## ソフトテニス中学女子の部に優勝して

福地中学校二年 今本 真輝

私は、市民大会に参加して、ペアとの信頼関係を深めることができたと思います。また、一試合、一試合勝っていくことで、自分のメンタル面も強くなりました。

私は、今までソフトテニスをやっていた良かったと思うことが二つあります。

一つ目は、ソフトテニスという競技を好きになれたことです。ソフトテニスを始めたころは、ソフトテニスを続けたいという気持ちより、もうやめたいと思う気持ちの方が大きかったです。でも、色々な大会に出たり、練習をいっぱいやっている



と、新しいことができるようになって、とてもうれしかったです。

二つ目は、試合に勝って喜ぶことができたことです。ソフトテニスをやっていて伸び悩んだこともあったけど、大会に出て賞状をもらうことができる、ペアへの感謝の気持ちと純粋にうれしいという気持ちがありました。

だから、私はこれからもソフトテニスを続けたいと思います。

## インディアカの部

チーム・グリーン 伊奈 洋一

西尾市インディアカ協会は設立から十年が経過しました。昨年の「市民体育大会・インディアカの部」には混合の部に十八チーム・女子の部に八チームの参加を得て開催されました。

日頃はそれぞれのチームで、この日の為に一生懸命に練習をした成果を発揮すべく、各チーム・各選手共に精一杯のプレーで奮闘しました。

私は所属する「グリーン」の一員として六人で混合の部に参加しました。午後からの決勝戦を目指して、午前中に三試合を行った結果十二チーム中の五位と残念ながら駒を進める事は出来ませんでした。しかし、年齢的には全員シアのチームの私たちとしては、なかなか頑張ったと言える成績でした。午後からは、お楽しみのコートに移って交流戦を行いました。本当に一日をインディアカにどっぷり浸かって楽しむ事が出来ました。

「インディアカ」は世の中にまだ十分認知されていないとは言えないけれど少しでも多くの人に認知して貰えるように、協会関係者や会員のみならずと頑張っていければと思います。



## 西尾射撃クラブの部

西尾射撃クラブ 鈴木 茂

皆さん頑張っています。西三河大会では、いつも上位にランクされています。優勝から三位迄より下がったことはありません。

皆さん頑張つて練習に励んでいます。スポーツに使う器具が銃と弾ですから危険な競技です。なので神経を使います。

近年は、公安委員会の銃所持への規制が厳しく、優秀な選手が廃銃して去って行くのも時代の流れと思います。

四十数年続いた由緒あるクラブで、国体選手も出した西尾射撃クラブでもそんなに長くはないと思います。それまでは、クラブ員一同力を合わせて頑張つていきます。



## 私は寺津中女子バレー部のセッターです

寺津中女子

バレー部

杉浦 叶恵

昨年度市民

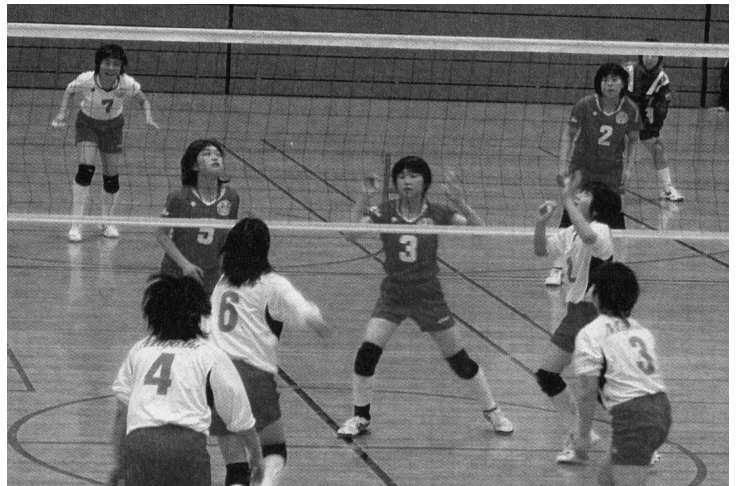
大会はまだ実力不足で、トスが不安定だったと思います。二年生になつての新人

戦なので、とても緊張していました。覚えていたのは、西中戦と平中戦のことです。

両チームとも強豪で、ライバルチームです。

まず平中との一セット目は、寺中の攻撃がよく決まり、良いムードで戦えました。二セット目の序盤は寺中のサーブミスが多く、同点に追いつかれた時はすごく焦りましたが、中盤からは気持ちを切り替えプレーできたので勝つことができました。二月の一年生大会以来の公式戦だったので、なかなか緊張感が抜けませんでした。ストリート勝ちだったのでホッとしました。西中戦では一セット目を大差で勝つたのに、二セットに入ってから少し油断をしたため、先行される場面もありました。しかし、私のトスをエースが何本も決めてくれたので、一年生大会に続いてこの新人戦も四戦全勝で完全優勝できました。

「新人戦でも優勝！」



## グラウンド・ゴルフ競技に参加して

グラウンド・ゴルフ協会 会員

私は、昨年の西尾市市民

体育大会のグラウンド・ゴルフ競技に参加しました。

このグラウンド・ゴルフは「いつでも、どこでも、誰にでもできる」のキャッチフレーズにつられて私も五年前から始めました。

そこで、昨年も市民体育

大会の同競技に参加させていただきました。この競技の素晴らしいところはゲーム中にみんなでコミュニケーションをとりながらプレーが出来ることです。上手な人の技術を見ながらさっそく自分のプレーでやってみる事もできます。中には難しい場面に遭遇したときには手をとって指導してもらえ等、本当にこれが順位を競い合うスポーツかと思うほど楽しく和気あいあいの雰囲気でした。結果として、一ラウンド八ホールを二ラウンド廻る中で運よくホールインワンを達成しました。(ホールインワン一個につき実打からマイナス三)これにより大逆転をして入賞することができて本当に楽しいグラウンド・ゴルフ大会でした。



## 市民大会に参加して

テニス協会 石川 幸利



テニス競技ではこの市民体育大会のベスト八に入ると、二月に西尾市総合体育館で行われる、西三河マスターズという大会への出場権を得ることが出来ます。西三河マスターズとは、豊田、安城、刈谷、西尾、碧南、知立、高浜市各テニス協会の、同レベルの大会のベスト八以上の選手が集う大会です。昨年度、自分は中村利彦さんとペアを組んで市民大会で優勝し、マスターズに出場しました。しかし、マスターズでは出場選手のレベルも高く、残念ながら上位に入賞することはできませんでした。

大会に出場する以上、勝利に向けてがんばろうという気持ちとはとても大切だと思います。さらに、少しでもレベルの高い大会での入賞は競技者の目標であると思います。本年度は合併により、昨年度以上の参加者が見込まれます。自分自身のために、そして西尾テニス協会のためにがんばって練習し、まずは市民大会での上位入賞を目指したいと思います。

## 役員として市民体育大会に参加して

西尾市水泳協会 平野 和由

例年西尾市民大会のトップを切って開催されるのが水泳競技大会である。八月下旬まだ残暑厳しき中、中学生から六〇歳代まで（ある年は七〇歳台の方も）四五〇名程の出場者で

市内唯一の長水路である平坂中学校プールで熱戦が繰り広げられている。（小学生の大会は別日程で開催）種目も男女別に中学生、高校、

一般、特に一般は二〇歳台から六〇歳台まで年齢別に組合せ、五〇M、四〇〇Mと多彩なレースが開催される。

特に盛り上がるのがリレー種目である。地元スイミングからマスターズ大会にも出場して

いる多くの市民が四人一組で、新記録ねらいのチームから完泳ねらいのチームまで名を連ね、一面スイミング対抗戦を繰り広げている。特に四人合計一五九歳以下と一六〇歳以上の部では泳法ごとに順位が入れ替わるといふレースがあり会場は大盛り上がりである。水泳は健康に大変よいスポーツであり、市民に愛され、参加者の多い大会として今後も開催しようと思う。



僕にとつての剣道は、自分を成長させてくれるもの。心、体ともに成長させてくれるものだ。昨年、僕はこの市民大会で優勝することができた。その前は2位だった。決勝戦を平常心で戦うことができなかったからだ。しかし昨年の優勝戦は平常心でできた。だから優勝できたと思う。毎年、この市民大会で自分の成長を感じている。

## 僕にとつての剣道

平坂中学校二年 中根良基

もっと自分が強くなるために、自分自身を見つめなければならぬ。

今の自分はたくさんの人に支えられてきた。その人たちに恩返しの意味でも成長した姿を見せたい。市民体育大会は僕を強くしてくれる。今年もこの大会で成長した姿を見せたい。そして剣道を通して立派に大人、人になるために、心を磨き、稽古に精進していききたい。剣道ができる喜びを感じ、この大会にのぞみたい。



## 市民体育大会に参加して

西尾市野球協会 稲垣 龍介

さて、我が軟式野球の歴史は明治六年アメリカ人が教えたのが始まりといわれ、日本では最も歴史があり圧倒的競技人口に支えられた国民的スポーツとなっており。今年度で第五七回を迎えるわけですが、西尾市野球協会が創立したのは昭和二



五年四月以後、途絶えることなく運営しております。

運営内容は小学生・中学生・高校生・大学生・社会人と幅広く、西尾市の未来を担う若者の人間形成の場として、軟式野球を市体育協会をはじめ 各学校の先生・役員・審判員と協力し行っております。昨年の第五六回市民体育大会も学童一九チーム(六〇〇人)、中学六チーム(一八〇人)、大人六九チーム(二〇〇〇人)と西尾市市民グラウンドを始め、各会場で盛大に行われました。学童では小学校の選手と監督・コーチ・親御さんが一体となって未来の野球選手をめざし歓声をあげていましたし、中学では選手に 技能・技術がつき始め先生の熱心さと選手のカッコよさが未来の甲子園めざしがんばっていました。

大人は年齢層に幅(一八歳〜七〇歳)があり高校・大学卒のバリバリの野球、野球経験はないが楽しくやる野球、過去の栄光を胸に今は仲間と健康のための野

球だったり千差万別。これこそが西尾市が目指す「スポーツを通じて市の活性化」年齢幅を超えた連帯感が生まれ、毎年市長さんをはじめ多くの市の関係者がゲームを熱心に観戦されるを踊かされる所為だろうと私も筆者として感じております。特に今年度は合併し更なる多くの競技人口になり大変盛り上がる事でしょう。

## 市民体育大会に参加して

西尾市アーチェリー協会 富岡 政則

西尾市アーチェリー協会では、毎年、七月から九月にかけて初心者教室を開催しています。(一回 一二〇分 合計一〇回開催) 初心者教室が終了時期に開催されるのが「市民体育大会」で、初心者にとつて、公式試合初参戦となります。この「市民



体育大会」が初心者にとって、とても重要な役目を持っています。

通常、試合に出るのには、全日本アーチェリー連盟に競技者登録をして、全日本主催の試合に出るか、全日本公認の県大会に出場することになります。競技者登録をするのに、三〇m三六射で二〇〇点以上の得点を収め、グリーンバッジを取得しなければなりません。しかし、初心者教室を終了したばかりの技量では、グリーンバッジの取得は無理。では、他に試合はないのか?近隣協会主催の大会があります。(安城市:七夕大会 豊橋市:会頭杯 岡崎:オープン大会 西尾市:会長杯 三河湾チャリティー大会等々)しかし、これもグリーンバッジが取れないようでは、参加は無理。そこで、「市民体育大会」での試合が大きな意味を持つてきます。使い慣れた場所・道具で、昨日まで和気あいあいと一緒に練習していた仲間がライバルとなり、試合のリズムを体感し、得点付して行くうちに、1点でも多く得点し「勝ちたい!」と言う気持ち

が湧いてくる。この試合を経験して、初めてアーチェリーの面白さを確認できるのです。そして、「強くなりたい!」という気持ちが湧いてきます。自分も数十年前に初めて「市民体育大会」を経験し実感しました。アーチェリーは年齢・男女問わず、楽しむことが出来るスポーツです。

これからも、「市民体育大会」の意味を大切にし、アーチェリーの楽しさを伝えて行きたいです。



## 弓道の部に参加して

鶴城丘高等学校二年 鈴木亮太、近藤吾吾



昨年の「市民大会男子団体三位」、それが僕たちにとつての初めての入賞でした。鶴城丘高校弓道部に入部して半年、先生や先輩方から弓道の所作や、試合に対する心構えなどを教えていただき、先輩一名を含めた三人立チームで試合に臨みました。初めての試合

に胸が高鳴り、一本でも多くのに当てたい、団体戦なので足を引つ張らないようにしたいといういろいろ考えているうちに、僕たちの「立」は終わってしまいました。先輩に助けられた部分が大きかったです。三位入賞が確定した時、チームで戦うことの面白さ、仲間の大切さを学ぶことができました。この成功体験は、僕たちの練習の質を高め、式段取得、県大会出場、国体候補最終選考会にも参加することができました。今年の市民大会は、僕たちに何を学ばせてくれるか楽しみでたまりません。ぜひ、優勝目指して頑張っていきたいと思えます。

## 柔道を通して

平坂中学校二年 松川瑞歩

私は、六歳から柔道を始めました。きっかけは、お兄ちゃんの柔道着がカッコよくて、よく賞状をもらっていたからです。それで、お兄ちゃんより少しでも強くなろうと思つて始めました。でも、お兄ちゃんには全然勝てません。

柔道を六歳から始めて七年目です。楽しかったことや、悔しかったこと、良かったことがいっぱいあります。例えば、柔道を通じて友達がきたり、試合で勝つた時や賞状をもらった時はとってもうれし、負けた時はとっても悔しくて、もっと練習をいっぱいして、勝ちたいと思います。そんな気持ち、出たせいか昨年の市民大会個人戦は、優勝することができました。とてもうれしかったです。



柔道を創った嘉納治五郎先生の言葉に「精力善用・自他共栄」があります。これは、いっぱい善いことに、自分の力を注ぐこと、そして、他人を敬い、自分だけでなく他人も共に栄えることです。とても素晴らしい言葉で、心がけたいです。これからも、この言葉を大切にして柔道を続けたいです。

## スキー競技大会に参加して

一色中学校三年 稲垣宗耶

自分は、体育があまり得意ではありません。唯一、水泳だけは小さい頃からスイミングへ通つたので、得意な方でした。

スキーは小さい頃に何回かやった程度でしたが、二三年前から西尾市のふれあいスキー教室やその他のスキー教室に参加して、何とか転ばずに山の上から足を揃えて滑り降りることができるようになり、また、旗をくぐり抜ける面白さも知ることができたので、スキー大会に昨年参加させてもらいました。大会では一部スピードが落ちてしまったが、それ以外は自分の納得のいく滑りができたので、とてもよかったです。

また、昨年の大会で一緒になった人達とも顔を合わせて、スキー以外の交流もできてとても面白かったです。もっと多くの人達もスキー大会やスキー教室に参加してもらい、競技や交流ができればよいと思います。



## 女子ダブルス二部優勝の二人

平坂中学校三年 長谷 明音（はせ あかね）

私の今までのバドミントン競技人生を振り返ってみると、小学生から西尾ジュニアバドミントンクラブに入り練習をし、いろんな試合に参加していくうちに勝にこだわるとなりました。コーチ、応援に来てくれた親に反抗してしまったりもしました。いろんな事があつたけど、昨年度の市民体育大会のダブルスで優勝を獲得できた私は、周りの人が支えてくれていた事が分かったので、今以上にバドミントンに熱を入れて頑張りたいと思いました。



平坂中学校三年 伏屋 里香（ふせや りか）

私は昨年の市民体育大会女子二部で優勝できたのは、皆さんのおかげだと思います。練習で技術指導してくれるコーチ、応援してくれた周りの方々がいるからこそ今の自分があります。また、両親の支えがあるから

練習ができるし、試合にも出場することができからです。皆さんには心から感謝しています。そしてそれを力にして

これからの大会も上位を目指して頑張りたいです。これからも応援を宜しくお願いします。



## 『無心で走った100m走』

鶴城小学校 六年 柵木 友幸

ぼくは、去年の一〇月二日に行われた、西尾市市民体育大会の陸上競技の部小学校低学年一〇〇m走に出場しました。ぼくは鶴城小学校の陸上部で四年生の時から毎日練習をしてきました。これまでに一〇〇m走で西三大会や県大会にも出場し、よいタイムを出すことができたので、この市民体育大会でも優勝をねらっていました。

それでも、レースが始まるまでは、きんちようして足がふるえていました。スタートの合図を聞いたしゅん間、きんちようを忘れていつも通り走ることができました。走り終わったら、今までで一番よいタイムが出たかもしれないと思いました。放送で優勝したと聞いた時はうれしくて、いつも練習に協力してくれたお父さんに一番に伝えました。

今年も、鶴城小学校の陸上部キャプテンとして自分の記録だけでなく、みんなが自己ベストを出せるよう

にがんばって練習してきました。鶴城小学校みんなで力いっぱい参加したいです。



がんばれ 東日本

## 少林寺拳法に参加して

西尾市吉良町 左右田知佳



昨年の西尾市民体育大会では、高校生の部に出場し、最優秀賞をとることができました。この大会に向けて私は、たくさんさんの練習を重ねてきました。うまくできない技があれば先生に聞き、他人の技を見て真似をしたりしました。時にはできない自分が嫌になることもありました。県大会で優良賞を取ったという周りからのプレッシャーに不安を感じる日が多くなったからです。しかし、修練を続けることで、「限界を越えなければ認められない」と知り、私は周りを信じ、修練しました。結果、良い成績を残すことができ、嬉しさとともに他の人の大切さを知りました。周りがあるから自分がいるということを心に刻み、社会人となった今、周りという役割から他の人を支えていける人になりたいとこの大会を通じて思うことができました。これからも、自分で自分の限界を作らず、少林寺拳法の修練を続け、多くの大会に挑戦していきたいと思えます。

## 西尾市のサッカーレベル

西尾市サッカー協会 石川裕之

私は毎年、少年チームの指導者、大会役員、選手として市民大会に参加しております。私が、小学生の頃のサッカーと言えば、闇雲に、蹴ったり走ったりしていただけだったのに・・・今の小学生達は、しっかりと考えてサッカーをプレーしていたり、ボールを『止める』『蹴る』『運ぶ』の基本動作が、出来ている子ども達が増えている様に見受けられます。

これも、西尾

市で活動している五チームの少年サッカークラブや各小学校の部活を指導してみえる方々の賜物だと思えます。

この様な大会を見ていて、西尾市のサッカーレベルがアップしていくのを感じられるのがとてもうれしいです。近い将来、西尾から日の丸の付いた青いユニフォームを着る子が出るのを期待します。



## 西尾市体育協会加盟団体の紹介

西尾市陸上競技連盟  
西尾市野球協会  
西尾市剣道連盟  
西尾ソフトテニス協会  
西尾市卓球協会  
西尾市弓道連盟  
西尾市バレーボール協会  
西尾市柔道会  
西尾市スキー連盟  
西尾射撃クラブ  
西尾市バスケットボール協会  
西尾市アーチェリー協会  
西尾市ソフトボール協会  
西尾市水泳協会  
西尾市テニス協会  
西尾市ゲートボール連盟  
西尾市バドミントン協会  
西尾市少林寺拳法連盟  
西尾市サッカー協会  
西尾市グラウンド・ゴルフ協会  
西尾市インディアアカ協会  
西尾市空手道協会

一市三町合併して平成二三年度より新西尾市体育協会になり、西尾市空手道協会が加盟して二二団体になりました。役員は次のとおりです。

会長 榊原康正  
副会長 三ツ矢彪  
副会長 高須君照  
副会長 石川孝夫  
副会長 野村一世  
理事長 木村昌保

# 空手道大会に参加して

津平小学校二年 長坂 大樹



大会に参加して良かったことは、ほかの人の競技を見てすごく勉強になることです。空手を習い始めて礼儀作法が身についてとてもよいと思います。これからも型とかをしつかり覚えていきたいです。

白浜小学校六年 高津 宗一郎

ぼくは、空手の競技をして良かった事がありました。それは、たくさんの技や型を覚える事ができた事です。組手の時につかえるワンツ―や、一番初めに習う形ピアン二段なども覚える事ができました。大会や、初級審査などに向けてがんばってきました。



新しい型に入る時は、いつも以上にがんばりました。今の級は一級です。黒になるには、後二回審査があります。先生が言うには、厳しいようですが、集中して練習して、黒になりたいです。来年、中学生になる前に、黒になりたいです。

## 西尾市体育協会の事業予定

西尾市幡豆郡三町合併記念ウォーキング

しあわせウォーキング わがまち再発見

期 日 十一月一三日 日  
スタート 新西尾市縦断コース  
午前八時

西尾 一色 吉良

幡豆地区コース

午前九時半

ゲスト 益子直美 幡豆支

所で記念トークショー開催

詳細は広報 九月一六日号のチラシを参照ください

## 第四回西尾市駅伝スタイル

期 日 十二月一八日 日

スタート 午前十時より

会場 古川緑地サッカー場

八ツ山公園

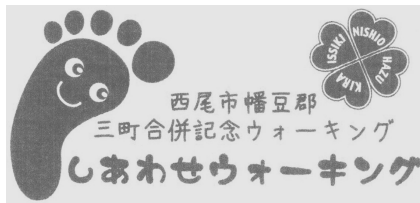
部門 ①一般の部

②中学生の部

③小中学生の部

④ニアフレンドリーの部

詳細は広報 九月一六日号を参照ください



# 西尾市体育協会広報委員会

委員長 ・稲垣 正彦 (陸上)  
委員 ・山岡 忠弘 (スキー)  
・服部 友康 (アーチェリー)  
・岩崎 万代 (インディアアカ)  
・岩瀬 文夫 (事務局)

## 編集後記

西尾市体育協会は二三年度の合併を機に組織を新しくしました。その中で、組織の円滑な推進を図るために専門委員会を設けました。その内のひとつが「広報委員会」です。メンバーは右記の者になります。広報委員会では「体育協会だより」を発行することで、体育協会の活動を知ってもらい、より多くの市民にスポーツ活動に参加してもらおうことをねらいにしています。



今回第一回目として各加盟団体から「市民体育大会に参加して」という内容で資料を寄せていただきました。多くの団体から原稿を寄せていただきました。どの団体からも、自分の参加競技における力強い意欲や、楽しんでる姿が見えてきます。今回の五七回大会でもよりいっそうの盛り上がり期待しています。その様子はまた、この「体協だより」でお知らせしていきたいと思えます。

(広報委員長 稲垣 正彦)